

ながとの風

長門市立深川中学校
校長室だより
2022.5.16 No.7

長門に学び、長門の人と交流する

右の写真は、1年生の自然体験学習の一コマです。油谷後畑地区のハーブ園を見学し、グループで競いながら楽しそうに草取りをしていました。現地では、NPO法人「ゆや棚田景観保存会」の皆さんが、親切にいろいろな説明をしてくださいました。



生徒たちも、高台から見下ろす

田畑の風景とその向こうに広がる日本海を眺めながら、長門市の自然を満喫していました。

さて、まだまだ新型コロナの感染拡大が心配される中でも、今年のGWには行動制限がなく、近隣の学校では先週修学旅行を終えた学校もあるなど、昨年度の今頃とは、少し状況が変わってきています。

本校では、修学旅行を9月に延期しましたが、生徒総会や人権教育参観日と講演会、職場体験学習等、昨年度、例年通りに実施できなかった行事を従来の方法に戻して実施することを計画しています。そして、様々な地域との交流活動を進めていく上で、次の3点を大切にしていきたいと考えています。

深川中学校 75周年ストーリー

【10年ごとに振り返る学校史④】

深川中創立30周年は昭和52年（1977年）で、生徒数は560人でした。昭和50年から始まった3期にわたる新校舎の工事がすべて完了したばかりで、30周年を記念して校長室横の中庭が築庭されています。当時の部活動でも多くの成果を上げていましたが、この年は陸上部男子が春の西部県体で優勝していることが特筆されます。私は豊北第三中学校の3年生で、長門市駅前にあった長門プラザに行くのを楽しみにしていました。

- 1 長門の人と関わり、自然や文化、歴史を学ぶ
- 2 長門の人と一緒に未来を考え、可能性を探る
- 3 長門を愛する気持ちを高め、地域に貢献する

前述の1年生の自然体験学習では、地元のまちおこしに力を尽くしておられる方々のお話を聞き、その熱意に感動しました。また、一昨日本校を会場に行われた「わくわく土曜塾」のサツマイモの苗植えでは、小学生に苗の植え方を教える中学生や、それを見守る地域の方々の姿をととてもほほえましく思いました。

保護者の皆様も、これからのPTA活動や地域行事等を通じて、本校生徒と積極的に関わり、温かいまなざしで見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

★本校生徒、地域イベントのボランティアで活躍☆

■5月22日（日）長門高前の卸市場で開催される「ながとSDGsマルシェ」に8名が参加します。

■6月12日（日）「向津貝ダブルマラソン」のゴール地点で、吹奏楽部が演奏して選手を応援します。

【校長室の窓から】 ▼コロナ禍ですが、先週献血に行ってきました。献血は、年に3回気軽にできる私なりのボランティアで、血液検査の結果も出るので健康管理に役立ちます。高校生の頃、授業がさぼれるという理由で献血を始めて、44年になろうとしています。今回で109回目の献血を終えました。